

1 音楽を学ぶねらい

- ・曲想と音楽の構造や背景との関わりや、音楽の多様性について理解できる力を養う。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱や器楽演奏・創作などの活動を通して表現できる力を育てる。
- ・音楽を形づくる要素や要素同士の関連を理解させ、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、理解したことと感受したこととの関わりについて考えたり、どのように表すかについての思いや意図をもったり、音楽を評価しながら、良さや美しさを味わえる力を育てる。
- ・歌唱や器楽の表現、鑑賞や創作の体験を通して、音楽や音楽文化に親しむことのできるよう、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に表現や鑑賞の学習活動に取り組ませる。
- ・音楽の基礎的な表現や知識を身につけることで、多様な音楽や音楽表現の背景としての人間の歴史や文化を考え、総合的に芸術の豊かさを自らの人生に生かせる力を育てる。

2 学習方法

- ・美しい発声のしくみを理解しながら、楽曲に適した音量と音色、表現方法で歌唱し、仲間と協力しながら合唱作りの活動に取り組む。
- ・楽器のしくみや特性を理解し、楽曲に適した音量と音色、表現方法で演奏する。
- ・基礎的な創作活動に取り組む。
- ・楽曲の背景・歴史と曲想の関わりを考えながら、主体的・協働的に音楽を鑑賞する。
- ・音楽を形づくる要素について理解し、楽曲との関連を考える。
- ・楽曲について曲想を感じ取り、根拠をもって評価・批評する。

3 持ち物、忘れものなどについて

●持ち物

教科書、器楽の教科書、合唱曲集、ファイル、楽器、音楽袋など

※教室、音楽室での自分の教材の管理や移動について、責任をもって取り組む。

※提出物は期限内に提出する。教材忘れは貸出を受けて授業に参加する。

4 学習の観点と評価方法

①「知識・技能」

音楽の構造や背景との関り及び音楽の多様性について理解している。

【授業での取り組み（発声・パート練習・全体練習）・発言・ワークシート、実技テスト、定期考査】

②「思考・判断・表現」

音楽を形づくる要素の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもっている。

【授業での取り組み（発声・パート練習・全体練習）・発言・ワークシート、実技テスト、定期考査】

③「主体的に学習に取り組む態度」

音楽や音楽活動に親しみながら、主体的・協働的に、表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【授業での取り組み（発声・パート練習・全体練習）・発言・ワークシート】

5 先生からのアドバイス

- ・授業規律を整える（チャイム着席、教材を揃える、授業に積極的に取り組む）
- ・恥ずかしい気持ちを克服して、自分なりの音楽表現の工夫に積極的に取り組む。
- ・実技のテストなどでは、精一杯、自分なりの音楽表現に挑戦する
- ・提出物は期限厳守。「定期テスト」は授業内容からの出題なので、授業内容を、その都度しっかりノートし、プリント等の資料をファイルに整理しておく。

6 音楽科 1年 年間学習計画

学期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法
1	4	明るい発声で歌おう 校歌・発声練習曲	・中学生の発声のしくみを理解し仲間と歌う喜びを分かち合い、積極的・協力的に歌唱活動に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・ワークシート ・定期考査 ・実技テスト
	5	歌詞の内容や曲想を感じ取ろう 《Forever》	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、へ音譜表の読み方を覚え、パートの役割や旋律の重なり方を考えながら表現を工夫して合唱する。	
	6	曲想を感じ取って歌おう 《明日の空へ》	・音色・リズム・旋律・強弱・形式を理解し、それらの働きを感じたり考えながら工夫して歌う。詞の内容や声部の役割と曲想を関連されながら歌唱表現を工夫する。	
	7	詩と音楽とのかかわりを感じ取ろう 《魔王》	・詩の内容と曲想とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなど工夫する。	
2	9	声部の役割や曲のまとまりを感じて歌唱しよう 《夏の日の贈りもの》	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成（混声3部合唱）を理解し、各声部の役割や歌詞の内容を感じ取り、曲想との関わりを考えながら、歌唱表現を工夫する。 ・混声合唱の豊かな響きを味わいながら歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・ワークシート ・定期考査 ・実技テスト
	10	合唱コンクール 自由曲	・楽曲の音色・旋律・テクスチャ・形式や作曲者の意図や背景などを理解し、それらの働きと曲想との関わりについて感じながら聴き味わう。	
	11	音楽の特徴から情景を想像しよう 《春 第1楽章》	・音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどする。	
	12	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、表現を工夫しよう 《赤とんぼ》 《ふるさと》	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の歌のよさや美しさを感じ取って、表現を工夫しよう。 ・歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を感じ取り、情景を思い浮かべながら、表現を工夫して表情豊かに歌う。 	
3	1	リズムを感じ取ろう	・音符や休符が表すリズムを理解し、自分の身体で表現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・ワークシート ・定期考査 ・実技テスト
	2	箏の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう 《箏曲 六段の調》 《さくら変奏曲》	<ul style="list-style-type: none"> ・箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わう。 ・箏曲の特徴と背景とのかかわりをとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさ、箏の音色を味わいながら聴く。 	
	3	曲想の変化を生かして歌唱表現しよう 曲のメッセージを音楽で表現しよう 《君に伝えたい》	<ul style="list-style-type: none"> ・声部の役割を感じ、全体の響きに気をつけて豊かな響きを工夫して合唱する。 ・卒業をイメージしながら曲想についての関りを理解しながら歌唱表現する。 	